

## 第 1 1 回会計検査院契約監視委員会定例会議議事概要

開 催 日	平成 2 5 年 1 月 2 1 日 ( 月 )	
場 所	会計検査院情報公開・個人情報保護審査会会議室	
出席委員氏名	委員長 松島 桂樹 (武蔵大学経済学部経営学科 教授)	
	委 員 稲生 信男 (東洋大学国際地域学部国際地域学科 教授)	
	委 員 長村 彌角 (公認会計士 有限責任監査法人トーマツ パートナー)	
抽出案件	5 件	(備考)
(内訳)		
一般競争契約	4 件	
指名競争契約	0 件	
随意契約	1 件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

(別紙)

1. 平成 24 年度における契約の現状について 会計検査院側より、契約の現状について説明を行った。	
意見・質問	回 答
なし	
2. 案件の審議 検査情報収集、整理・分類業務を含む 5 件を審議した。審議の内容は次のとおりである。	
意見・質問	回 答
<p><u>(1) 検査情報収集、整理・分類業務（一般競争契約）</u> ・クリッピングした記事の概要をまとめるという作業を契約期間開始後すぐに行うということであれば、業務の準備期間が充分に取れていないため、入札参加者を限定してしまうことになるのではないか。</p> <p><u>(2) 安否確認サービスの利用（一般競争契約）</u> ・安否確認サービスの仕様に気象情報の機能を盛り込むことは、一般的にはハードルの高いサービスと考えられることから、実際の運用を検証した上で、一般的な仕様の内容とすれば、複数の業者が入札参加するのではないか。</p> <p><u>(3) インターネット接続業務（随意契約）</u> ・ネットワークの更新に伴い、インターネット接続業務も一般競争入札により調達を実施（24年10月契約）しており、この際に、1者応札であったということであれば、競争性が働かなかつたのではないか。</p>	<p>・入札日を契約期間開始時期より 3 週間程度早めることで、本業務に対する準備期間を充分に取れるように配慮は行っている。</p> <p>・気象情報の仕様は、地震や津波の情報も含んでおり、地方出張の多い本院の業務の特性から必要な項目であると考えている。今後、実際の運用方法について検証した上で、必要に応じ要求仕様の見直しを行う。</p> <p>・入札参加者は 1 者であったが、入札金額がこれまでの契約金額と比べて非常に安価なものとなったことから、結果として経済的な調達ができたと考えている。</p>

<p><u>(4) ネットワーク構築に係る調達支援業務（一般競争契約）</u></p> <p>・仕様内容からすると、一般競争入札による調達が可能となる業務であると考えられるが、入札説明会の際に、プロジェクトマネジメントにおいて、頻繁にミーティングへの参加を求めるなど業務内容が非常に負担となるといった印象を業者に与えたため入札参加者が1者となっているのではないかと考えられる。</p> <p><u>(5) 電子証拠書類等に関する連携調整等支援業務（一般競争契約）</u></p> <p>・本件業務の仕様内容では、抽象的な印象の業務であり、作業コストを十分に見積ることが困難であり、価格だけで競争する一般競争入札に馴染まないものであるため、入札参加者が1者になったのではないかと考えられている。</p>	<p>・他の同様の業務におけるミーティングの開催頻度に比べて特段多いものではない。また、公示期間中に開示資料を各業者が閲覧したところ、得意分野でなかったり、採算が合わないなどの理由から辞退し、結果として入札参加者が1者になったと考えられる。</p> <p>・仕様書作成の際は、内部で十分に検討を行っているが、同種の業務が少ないことなどから、入札説明会の参加者からは、業務内容を理解するのに時間を要するとの意見もあり、入札参加者が1者になったと考えている。</p>
<p>3. その他</p>	
<p>・「調達案件に関するアンケート」には、抽出案件について、アンケートの分析結果と対応策を本委員会へ提出し、さらなる業務改善を図る必要がある。</p> <p>・ 検査情報収集、整理・分類業務については、他省庁の状況を確認してほしい。</p>	